

## リアック 4000 ホワイト

- 系 統      アクリルウレタン樹脂塗料
- 特 長      ・4：1タイプに匹敵する塗膜性能を有する経済型10：1アクリルウレタン塗料  
 ・鮮映性と光沢に優れた肉持ち感のある塗膜が得られる。  
 ・塗膜は耐薬品性、耐候性に優れている。
- 用 途      工作機械、建設機械、弱電・重電機器類、車輛等
- 塗料性状

色	ホワイト
粘度 (Ku / 25℃)	67±3
密度 (23℃)	1.30±0.03
加熱残分 (%)	63±3
引火点	18℃
発火点	272℃
危険物表示	第1石油類 (非水溶性) 合成樹脂エナメル塗料
有機溶剤区分	第2種有機溶剤等
有害物表示	キシレン、トルエン、酢酸メチル、フェルベノン
医薬用外劇物	該当なし

- 荷 姿      主剤各色：16kg      4kg  
 硬化剤：1.6kg      0.4kg

- 塗装基準  
 混 合      : 使用前によくかき混ぜ、均一にしてください。

塗装方法	エアスプレー	静電塗装
希 積 剤	ウルタジナー-KN-0	ウルタジナー-KN-0
希積割合 (Wt%)	20~30	25~35
塗装粘度 (秒/20℃)	12~14	10~12
標準膜厚 (μm)	30~40	30~40

- 可使時間、混合比率      10℃にて12時間以内      主剤：硬化剤=10：1  
                                  23℃にて 9時間以内  
                                  30℃にて 5時間以内

\* 膜厚は標準の数値です。被塗物の形状・素材の状態・希釈率及び測定機器・測定方法により幅を生じ、増減します。

- 注 意 事 項
1. 塗装ならびに塗料取扱い時は、十分換気を行ない火気厳禁です。
  2. 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合は、塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生ずることがありますので、塗装を避けて下さい。
  3. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けて下さい。
  4. 硬化剤は湿気に感じやすいので密栓して保管して下さい。
  5. 硬化剤の皮膚付着には十分に注意して下さい。
  6. 製品安全に関する詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート (MSDS) をご参照下さい。

## リアック 4000 ホワイト

□ 成分表

リアック 4000 ホワイト		リアック 4000 硬化剤	
アクリル樹脂系ワニス	57.8	イソシアネート溶液	100.0
着色顔料	32.6		
溶剤	7.5		
添加剤	2.1		
合 計		合 計	
100.0		100.0	

□ 試験板作成条件

素 材	S P C C 鋼 板
前 処 理	リン酸亜鉛処理
下 塗	—
上 塗	リアック 4000 ホワイト
強 制 乾 燥	80° × 30分
乾 燥 条 件	23℃ × 7日間
膜 厚	30～40 μm

□ 性能表

試 験 項 目	規 格	性 能
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一樣になること。	合 格
引 っ か き 硬 度	鉛筆法による鉛筆硬度	H
鏡 面 光 沢 率	鏡面光沢度測定による60度鏡面反射率(%)	95
付 着 性	1mm幅 クロスカット法 100個基盤目による塗膜のはがれ抵抗性	100/100
耐 お も り 落 下 性	デュポン式衝撃変形試験器による塗膜衝撃抵抗性 (半径6.35mm × 500g × cm)	40
耐 中 性 塩 水 噴 霧 性	塩水噴霧試験装置による、塩水による塗膜の錆抵抗性 120時間	合 格
耐 水 性	水道水40℃に240時間浸しても、塗膜に異常がないこと。	合 格
耐 湿 性	温度50±1℃、相対湿度98%以上の連続結露法回転式で240時間 湿潤しても塗膜に異常がないこと。	合 格
耐 キ シ ロ ー ル 性	8枚重ねのガーゼにキシロールを浸しワピングしても塗膜に異常がないこと。	合 格
耐 ガ ソ リ ン 性	20℃にてハイオクガソリンに24時間浸しても、塗膜に異常がないこと。	合 格
耐 酸 性	20℃にて5%の硫酸の酸溶液に1ヶ月浸しても、塗膜に異常がないこと。	合 格
耐 アルカリ性	20℃にて5%の水酸化ナトリウムのアルカリ溶液に24時間浸しても、 塗膜に異常がないこと	合 格
促 進 耐 候 性	サンシャインカーボンアーク灯にて塗膜の割れ、はがれ、膨れがなく、 光沢保持率は85%以上で、色差が3.0以内であること(試験時間1000時間)	合 格